

町公民館だより

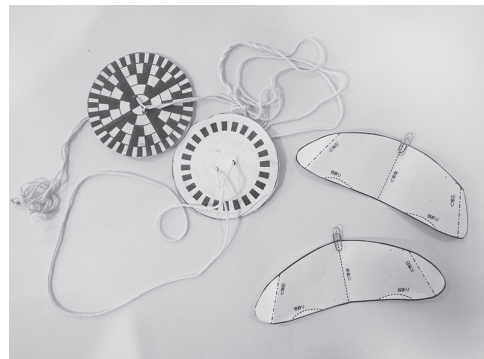
編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地 1
電話：74-0212 FAX：74-0105
E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

簡単に作れる工作で、楽しい科学あそびをしよう！

▼夏休み子ども教室「科学工作教室」



▲遠くまで飛んでいけ！紙のグライダーを飛ばす子どもたち▼簡単に作れる「ブンブンごま」と「紙のグライダー」



このごまは、元の色は白黒ですが、蛍光灯のそばで回転させると色が付きます。最初はなかなかうまく回せなかった子どもたちも次第にコツをつかみ、何回も回して色の変化を体験。工作で夏休みの楽しいひとときを過ごしました。

8月17日、根雨小学校を会場に開催されている「夏休み子ども教室」で、科学工作教室を行いました。
講師は、町公民館の神庭賢一館長が担当。まずは「紙のグライダー」作りから始めました。これは、インドネシアにあるガンドウカズラという木の種が、グライダーのように飛ぶことをモデル化したもの。手を高く上げ、上からパッと離すだけでスウーと飛ぶグライダーに、みんな夢中になっていました。
次に、ふしぎな模様の「ブンブンごま」を作りました。



▲「ブンブンごま」作り。みんなで工作すると楽しいね▶ブンブンごまを回す子どもたち。色が変わっておもしろい～！



皆さんに安心安全・快適に利用してもらうために

老朽化した公民館施設を改修します

町公民館では、地域の皆さんにより快適に利用してもらうため、老朽化した照明設備をLEDに交換することになりました。

LED化は、国の電源立地地域対策交付金事業を活用して行います。明るくて快適になり、そして省エネ効果が期待できます。工事により一部施設の使用制限を行う場合がありますので、皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。



目で見て、肌で感じて

▼新任教職員研修会「日野町の自然を知ろう」

8月19日、町公民館、滝山公園、宝仏山を会場に、新任教職員研修会を実施しました。

まず始めに、町公民館で、講師の神庭賢一館長から日野町の優れた自然の話聞いた後、滝山公園周辺の地形・地質の様子やハッチョウトンボなどの湿地に生息する生物を観察しました。龍王滝の荘厳な景観や、龍王滝が大昔の火成岩（花崗岩）でできていることなど、初めて見たり知ったりしたという参加者がほとんどで、皆さん大変興味深く見入っていました。



▲滝山公園湿地
地ビオトープ
で観察する参
加者の皆さん
◀大山隠岐国
立公園に編入
された宝仏山

その後、宝仏山に出かけ、地形・地質や生物の説明を聞きながら、根



▲お勝ヶ池の生物を観察する参加者

雨小学校や日野中学校が見下ろせる標高400m辺りまで登りました。宝仏山が大山隠岐国立公園の一部であることや、中生代という大昔にできた岩石でできていることなどを聞きながらの登山。険しい登りと暑さの中でしたが、日野町の素晴らしい肌で感じる良い機会になったようです。

子どもたちの安全を願って

▼町青少年育成会がパトロール



▲さあ、パトロールに出発

夏休みの期間中、町青少年育成会（神庭賢一会長）の会員で、街頭指導パトロールを行いました。パトロールは、夏休み期間における青少年の非行的活動の抑止および不審者対策を目的に、延べ33人が、夏休み期間中の金曜日（祝日と盆を除く）に計3回にわたって実施しました。小中学生は、夏休みのくらし・生活心得として、帰宅時間が午後6時と決められています。時間を過ぎても帰宅していない子どもたちに指導したり、高校生には声掛けをしたりして、青少年の成長を見守りました。

ふるさとのことば

～日野弁なんずかんず～ 第86回

「かぐる」

「あら、あんた、その腕えどげしなつただ」
「ゆんべ猫にかぐられただがあ」

日野弁では、「ひっかく、爪で傷つける」ことを「かぐる」と表現します。これは、日野地域だけではなく、中国地方で広く使われている方言のひとつです。

その由来を調べてみると、「かなぐる」という古語にたどり着きます。「かなぐる」は、「荒々しく払いのける」「乱暴にふるまう」という意

味の「掻き殴る」が変化したものとわれ、さらに縮まって「かぐる」になったと思われる。

実は、「かなぐる」も「かぐる」と同じ意味で日野地域で使われていますので、その可能性は高いでしょう。そして、「かなぐる」は、さらに変化して「かなぐり捨てる」の語源にもなりました。

「ひっかく」と「荒々しく放り出す」の由来が同じとは、言葉の成り立ちの面白さを感じますね。

協力：日野町歴史民俗資料館友の会